

## 堀口さんを偲んで

藤原 昭生

はまなすの会の理事でもあり、はまなすの会のホームページを立ち上げ、管理人を続けてくれていた堀口さんが七月に逝去されました。入院中に病室を訪ねた時、退院したら、あれもやりたい、これもやりたいと、いろいろと話を聞いていたのでとても悔やまれます。

私とは会社と一緒にだった事もあり何かと気が合い、二十代の前半に民家の離れ？と言うか倉庫の二階に畳みを敷いただけの部屋に、一年くらい二人で下宿していた事があります。下宿には毎日のように友達が押しかけ、お酒を飲んでは大騒ぎして、いつも大家から怒られていたことが懐かしく思い出されます。

堀口さんは、まだNHKでシルクロードのテレビ放送が始まる前からシルクロードに興味を持ち、敦煌から

ヨーロッパまでのシルクロードを訪ねたことがあります。今では危険で行けない、中国奥地やアフガニスタンのシルクロードを旅した貴重な経験の持ち主でもあります。堀口さんは趣味が多く、会社にいた時は仲間と落語研究会を作り、年に数回行われる発表会では、堀口さんの落語はとても人気がありました。堀口さんの得意なダジャレやユーモアのセンスは落語から培われたのかもしれませんが、また趣味で作っていた、地ビールはプロの域に達していて人気がありました。これからはあの味が楽しめなくなったのかなと思うと本当に残念です。堀口さんと言えば、うどん、何かのイベントがあればうどん打ちの実演を頼まれ、ガスボンベや大鍋を持参しその場でうどんを打ち皆を楽しませてくれました。

この様に忙しい中でも、私が大森先生を紹介してからは、すっかり先生の絵のファンになり、はまなすの

会の理事を引き受けてくれ、ホームページも立ち上げてくれました。また、飲むと本当に楽しい人でした。飲み会の時はいつも、「杯の歌」で雰囲気盛り上げてくれたり、即興の踊りも楽しかったです。今頃は天国で、「杯の歌」を歌いながら、先に逝った仲間と愉快にやっているのかな。「杯に映る明かりを飲み干して、まだまだ歌おう我が友よ、楽しさは酒の中から湧いてくる、オットトット、トットトット、酒の中から湧いてくる、スコール」と身振り手振りで歌っている姿が目に見えそうです。

心からご冥福をお祈りします。



ブータンの寺院前で故堀口氏